

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

宝栄小	学校	児童数	85
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.53	18.58	29.90	38.93	42.83	9.55	142.48	20.85	49.95
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.81	17.31	36.73	34.85	35.00	9.42	129.80	12.80	53.00
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

○体力合計点では、女子が大阪市平均を上回っている。種目別にみると、男子の握力と女子の握力、50m走が全国平均、大阪市平均を上回っている。

○質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的な回答の割合は、男子95%、女子88.9%（全国：男子93.4%、女子85.8%）である。

○1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子10%、女子16.2%（全国：男子9.8%、女子17.3%）で女子の割合が全国平均を下回っている。また、総運動時間420分以上の児童の割合は、男子40%、女子16.1%（全国：男子48.1%、女子26.5%）であることにより、男女とも運動に慣れ親しむ時間が減少し、特に女子でその傾向が顕著である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

○出前授業を実施し、様々な運動に触れることができた。引き続き出前授業を通して低学年のときから継続して様々な動きや感覚づくり運動に取り組んでいく。

○かけあし週間やなわとび期間（おおなわ）など、学校全体で運動に親しむ機会には意欲的に取り組む児童は多い。しかしながら、男女ともに運動に取り組む時間数は個人差が大きく減少傾向にある。引き続き学校全体で、運動に親しむ機会や休み時間にクラス全員で遊ぶ機会を設けるなど、運動する機会を確保していく。

○瞬発力や敏捷性、柔軟性を高められる運動を学習に組み込み、素地を養うことで体力合計点の向上につなげていく。